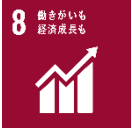


SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGs の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGs の推進に取り組むことを宣言します。

< 宣言日 > 2025 年 4 月 29 日

事業者情報					
事業者名		川崎重工業株式会社			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長執行役員			
	氏名	橋本 康彦			
ホームページ URL (任意)		https://www.khi.co.jp/			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
新たな時代における社会課題（地球環境保護のための脱炭素社会の実現、先進国を中心とした高齢化社会・労働力不足への対応、医療などの地域間格差の解消、自然災害の抑止や早期復旧、エネルギーの安定供給など）に対し、当社が掲げる3つの注力フィールド「安全安心リモート社会」、「近未来モビリティ」、「エネルギー・環境ソリューション」において各種ソリューションを社会実装し、社会課題解決を図る。					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17 のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を実現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
○	○	○			
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
○	○	○		○	○
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
○				○	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等				
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)			SDGs ゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	✓	【メイン】 3、8 【サブ】 9、17	安心安全リモート社会 産業、医療・福祉分野の労働人口不足を解消し、持続可能な社会と経済成長実現のため以下を推進 ● 産業用ロボット普及による製造業・サービス業の自動化、自律化および遠隔化支援 ● 介護施設への適切な介護機器やロボット導入支援 ● 医療分野における遠隔手術実現に向けた実証 ● 工場や商業、公共施設などにおける屋内の位置情報把握と位置情報データを活用した業務改善および効率化
	社会	✓		
	環境	□		
②	経済	✓	【メイン】 9、11 【サブ】 3、17	近未来モビリティ 物流における労働人口不足解消、大規模施設における効率配送、また都市化による交通渋滞や自然災害時の物流・交通手段の遮断解消に向け以下を推進 ● 災害時使用等を想定し、無人かつ垂直離着陸可能なヘリコプターとドローンの強みを兼ね備えた空の物流用モビリティ開発と実証 ● オンラインで簡便に手配可能なヘリコプター移動サービス提供 ● 病院、マンションなど大規模施設における業務効率化および省力化を目的とした屋内配送ロボット導入と実証
	社会	✓		
	環境	□		
③	経済	□	【メイン】 7、9、11、12、13、17 【サブ】	エネルギー・環境ソリューション カーボンニュートラル社会実現に向けて以下を推進 ● 水素サプライチェーン構築に向けた実証推進 ● 水素サプライチェーン構築前の移行期に活用する水素利用製品開発および普及 ● 水素サプライチェーン全体の GHG 排出量を算定する水素プラットフォームの実証および開発 ● CO2 分離回収、利用（CCUS）に関する開発および実証 ● 電動化製品拡大による低炭素・脱炭素化
	社会	□		
	環境	✓		

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①			
②			
③			